

「1者応札・1者応募」となった契約の改善方策について
(平成25年度第二四半期)

独立行政法人家畜改良センター

1 共通的な改善方策

- (1) 「1者応札・1者応募」(以下「1者応札」という。)の発生原因については、契約の類型ごとに異なる点も多いが、多くの類型に共通する原因としては、
- ア 発注者側が業務の品質確保の観点から企業や技術者に求めている実績要件、資格要件に対応した事業者が不足していた場合があったこと
 - イ 受注者側が、資格要件、業務内容からみて業務の確実な履行が行えるかの経営判断を行い、応札を断念する場合があったこと
- 等が考えられる。
- (2) このため共通的な改善方策としては、
- ア 企業や技術者に求める実績要件、資格要件について、競争性の確保を図る観点から、業務の品質確保を図りつつ、必要最小限のものとする
 - イ 応札しやすい環境整備を図るため、
 - (ア) ホームページの調達情報を事業者側からみて分かりやすいものに改善する
 - (イ) 公告時期の早期化や企画書等の作成期間を十分確保する
- 等を行うこととする。

2 類型ごとの改善方策

〔物品の購入〕

① 飼料等の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
- ア 育種改良のため配合を指定した飼料を調達する必要があるため、近隣で対応できる業者が限定される
 - イ 防疫体制上、飼料の加熱や運送等に厳しい条件を付す必要があるため、近隣で対応できる業者が限定される
- ということが考えられる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
- 1者応札となった原因を考慮すると有効な方策を見いだしにくい、公告期間を十分にとり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

② 受精卵の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
- 家畜の育種改良を目的として導入する育種素材にあつては、遺伝的能力の向上と遺伝的多様性の確保のため、あらかじめ能力と血統から受精卵を特定していることから、当該育種素材の所有者は限定されている。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
- 参加要件は必要最小限としていること、能力と血統から受精卵を特定しているため仕様の変更は出来ない。また、能力の高いものを速やかに調達する必要から公告期間見直しは出来ないため、有効な方策を見いだしにくい。
- このため、対応策としては、調達品目の仕様に関する情報提供を適切に行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

③高速クロマトグラフ及び制御PC等購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
当該品目を取り扱う業者は複数あるものの、仕様に適合する製品を取り扱えない
ということで、入札を辞退する業者が多かったことによる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
公告期間を十分にとったうえで、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ること
とする。

④山羊（ザーネン種）の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
海外から山羊を導入するという契約の性質のため、契約可能な者が限られることによ
ると推察される。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
公告期間を十分に設けることとともに、調達品目の仕様に関する情報提供を適切に
行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

⑤ホイルローダーの交換購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
仕様に掲げた中型ホイルローダー(80クラス)の生産、販売が1社でしか行っていないため、
他の業者が参入できる余地が無かったことによる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
公告期間を十分に設けることとともに、調達品目の仕様に関する情報提供を適切に
行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

〔役務〕

①ロールベアラ賃貸借契約

- (1) 1者応札となった原因としては、
地域性によるものや運搬車両の確保の困難性など受注者側の事情によるものと考え
られる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
公告期間を十分に取り、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え、応札者
の増加を図ることとする。

②チューブバッグサイレージ調整業務

- (1) 1者応札となった原因としては、
当該業務は実施時期が限定される業務であり、指定する仕様を満たして業務遂行で
る業者が近隣では限定されるため。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
前述の状況から、それに対する有効な方策を見いだしにくい、公告期間を十分に
とり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることと
する。

③LANシステム用サーバ更新に向けた調査及び仕様作成業務

- (1) 1者応札となった原因としては、
本件は、平成25年3月に別のシステム開発業者と契約したが、契約不履行に至った案件
である。今般、請負う業者には、前の業者が残した業務の点検、評価等、通常の業務
よりリスクを負うことから、応札を希望する業者数が振るわなかったと考えられる。

(2) 1者応札の改善方策としては、

本件において当初実施した入札説明会を引き継いだ説明会を実施し、業者に対して懇切丁寧な説明を心掛ける。

なお、応札に係る参加資格要件は、業務遂行上最低限必要とする要件であることから、これら要件を取得できるよう公告期間を十分にとり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。